

都道府県名

宮 崎 県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	高城町立高城小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	2	3	2	3	3	1	17	24
児童数	65	72	82	71	82	85	1	458	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身に付け、生き生きと活動する児童の育成
～算数科におけるきめ細かな指導を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年算数

系統的な学習のため、児童の習熟の差が出やすい教科である。
学校として、算数科に関する研究を3年間続けてきており、さらに研究を深めたいと考えている。

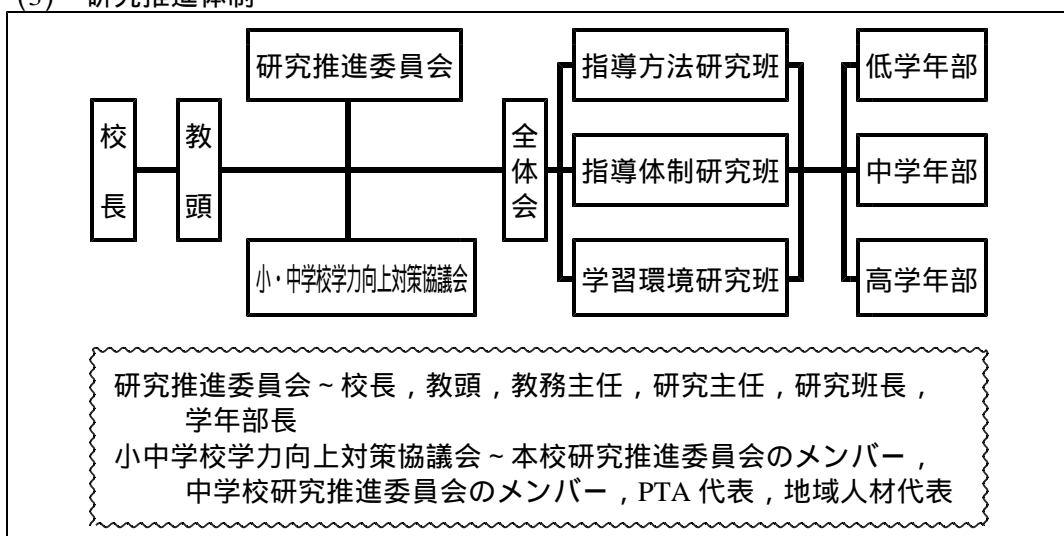
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付け、生き生きと活動する児童の育成 ～算数科におけるきめ細かな指導を通して～</p> <p>研究の見通し（仮説） 学習環境を整え、きめ細かな指導の充実を図るための指導方法や指導体制の工夫を行っていくなれば、確かな学力を身に付け、自信をもって生き生きと活動する児童を育成することができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習指導法の確立 基本的な学習計画・学習過程の見直し 算数的活動の取り入れ方の工夫 算数科年間指導計画の作成 ・支援・評価の工夫 評価規準の作成 支援と評価の一体化を図った授業の基本的な考え方の整理と実践 指導体制の工夫 ・少人数指導の基本的な考え方の整理と実践 ・一部教科担任制の計画及び実施 学習環境の整備 ・基本的な学習訓練の共通理解 ・環境整備（算数コーナー） ・実態調査の実施・分析 ・ドリル学習の充実（数と計算領域） ・家庭との連携（フロンティア事業の説明・実態調査の実施） 実践研究体制の整備 ・中学校との連携（共通実践内容の洗い出し） ・学力向上推進協議会との連携
--------	--

平成 15 年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付け、生き生きと活動する児童の育成 ～算数科におけるきめ細かな指導を通して～</p> <p>研究の見通し（仮説） 学習環境を整え、きめ細かな指導の充実を図るための指導方法や指導体制の工夫を行っていくなれば、確かな学力を身に付け、自信をもって生き生きと活動する児童を育成することができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習指導法の確立 学習計画・学習過程の工夫 算数的活動の取り入れ 算数科年間指導計画の見直し ・支援・評価の工夫 評価規準の見直し 支援と評価の一体化を図った授業の工夫 ・発展的な学習及び補足的な学習の基本的な考え方の整理と実践 指導体制の工夫 ・少人数指導の実践 ・一部教科担任制・交換授業の実施 ・地域人材の活用（基本的な考え方） 学習環境の整備 ・基本的な学習訓練の確立 ・環境整備（教室内掲示） ・実態調査の実施・分析・活用の工夫 ・ドリル学習の充実（量と測定・図形・数量関係領域） ・家庭との連携（実態調査を生かした実践） 実践研究体制の整備 ・中学校との連携（共通実践・合同研究会・教員の交流の実施） ・学力向上推進協議会との連携
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付け、生き生きと活動する児童の育成 ～算数科におけるきめ細かな指導を通して～</p> <p>研究の見通し（仮説） 学習環境を整え、きめ細かな指導の充実を図るための指導方法や指導体制の工夫を行っていくなれば、確かな学力を身に付け、自信をもって生き生きと活動する児童を育成することができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援・評価の工夫 支援と評価の一体化を図った授業の充実 ・発展的な学習及び補足的な学習の教材・開発 指導体制の工夫 ・少人数指導の実践 学習環境の整備 ・実態調査の実施・分析・活用の工夫 ・家庭との連携（実態調査を生かした実践） 実践研究体制の整備 ・中学校との連携（共通実践・合同研究会・教員の交流の実施） ・学力向上推進協議会との連携
----------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

算数的活動を中心として取り入れた年間計画の見直しや学習計画・学習過程の工夫を行ってきたことで児童は、算数科に対して興味・関心をもって学習に取り組むことができた。実態調査の結果を見ると昨年度より「算数が好き」と答えている児童が10%近く伸びている。

また、学習の仕方についても、「分かる」と答えている児童が、昨年度に比べると10%以上伸びている。問題解決的な学習の確立が図られてきている。

評価計画の見直しや発展的・補足的な学習の教材開発を行ったことで、個に応じた指導が充実してきた。また、児童の実態や単元の特性に応じて様々な少人数指導を取り入れたことで、基礎的・基本的な内容の定着が図れてきた。CRT検査の結果をみると、どの学年も平成12年度から徐々に伸びてきている。

単元を絞った一部教科担任制を実施したところ、児童の興味・関心が高く、また「授業の内容がよく分かる」と答えた児童が82%にのぼり、成果が上がっている。

学習指導週間において、全校を通じて共通した学習訓練を行ってきたことで、コース学習や教科担任制がスムーズに行えた。また、指導の徹底が図れた。

作成したドリルの活用を工夫し、児童が意欲をもって取り組めるようにしてきたことで、基礎的・基本的な内容の定着が図れてきた。

保護者説明会の実施やフロンティアスクールだよりの発行、研究の計画や評価のパンフレットの発行、「家庭学習のすすめ」の配付等保護者との連携を深めたことで、家庭と学校が連携して「学力向上」に向けて取り組むことができた。実態調査の結果から、「学力低下が心配」と答えた保護者が、10%近く減少している。

2. 今後の課題

研究内容の絞り込みを行い、さらに個に応じた指導の充実を図る。

評価計画や支援・評価表、自己評価カード、ドリル等の活用の工夫を行い、支援と評価の一体化を図っていく。

学力向上の成果が数値として表せるように、各種アンケート、検査の工夫を行う。

一部教科担任制における時間割の調整の図り方を検討していく必要がある。

小・中学校の連携を更に具体的に深めていく必要がある。

学力等把握のための学校としての取組

実態調査の実施

調査の目的

- ・ 算数科における児童の興味・関心や学び方についての実態を把握し、きめ細かな指導の方法を探る手がかりとする。
- ・ 一人一人の児童の実態を把握することで、個に応じた支援を行う資料とする。
- ・ 児童の実態の変容をとらえることで、研究の成果と課題の資料とする。

実施内容

- ・ 算数科に関するアンケート調査

時期

- ・ 7月と2月実施

CRT検査の実施

調査の目的

- ・ 一人一人の目標到達の度合いを明らかにし、その結果を学年末や次学年の学習に役立てる。
- ・ 学校全体としての到達度の度合いを把握することで、研究の成果と課題の資料とする。

実施内容

- ・ 検査
- ・ 結果の考察
- ・ 学級・学年としての手立て、一人一人の児童に対する手立ての検討

時期

- ・ 1月下旬実施

自己評価の蓄積

目的

- ・ 児童の学習における興味・関心や意識を把握し、その後の指導に役立てる。
- ・ 教師の指導方法の工夫改善の資料として活用する。

実施内容

- ・ 単元を絞って内容のまとめりごと実施する。
- ・ できるだけ短時間で評価できるように工夫する。

時期

- ・ 重点単元時

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

学力向上フロンティア事業説明会及び教育講演会の実施	
日時	平成15年1月17日(金) 14:15~16:00 平成16年1月16日(金) 14:15~16:00
場所	高城町民体育館
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上フロンティア事業について保護者に説明することで、家庭と連携した取組ができるようにする。 ・ 児童に高城小学校を卒業した先輩の講演を聞かせることで、目標をもってがんばることの大切さに気付かせ、日常の学習に生かすことができるようにする。
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5・6年児童，全保護者，地域の方々
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上フロンティア事業及び本校の取組状況の説明 ・ 質疑応答 ・ 教育講演 平成14年度～演題：「 夢に向かって 」 講師：浜崎奈津子さん 平成15年度～演題：「 旅と三味線 ～決して 決して 決して あきらめない～」 講師：重信 優さん
	<p>学力向上フロンティア事業の説明及び高城小学校の取組，評価に関するパンフレット発行（平成14年度9月，3月発行）</p> <p>平成15年度の高城小学校の取組及び評価のパンフレット発行 （平成15年度4月，3月発行）</p> <p>フロンティアスクールだより「きらり」の発行 （平成15年度9月から毎月1回発行）</p> <p>HP作成等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北諸県地区学力向上協議会「学力向上推進会議」のホームページにアップ

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	<input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下 <input checked="" type="checkbox"/> 13～18学級 25学級以上	7～12学級 19～24学級		
【指導体制】	<input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 <input checked="" type="checkbox"/> 一部教科担任制	<input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	国語 生活 体育	社会 音楽 その他	<input checked="" type="checkbox"/> 算数 図画工作	理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		<input checked="" type="checkbox"/> 有	無	